

平成 29 年 10 月 大泉図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 29 年 10 月 26 日（木） 13 時 10 分から 13 時 50 分まで
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館（以下「光」） 光が丘図書館長、管理係長、運営調整係長・係員（2）、事業統括係長、子供事業統括係長</p> <p>(2) 大泉図書館指定管理者（株式会社図書館流通センター）（以下「大」） 大泉図書館長、同館業務従事者（2）、本社スタッフ（1）</p>
内容	<p>① 施設管理について</p> <p>（光） 7 月に異音が発生し、経過観察としていた冷水機の状況は。 →（大） 現在は異音が無く、問題ない。</p> <p>（光） 7 月に設置した高齢者・障害者の優先席について →（大） 1 階読書席 12 席の内、出入り口に近い 2 席を優先席とした。座席には、優先席であること、介助の必要があればスタッフまで申し付けてほしい旨の表示をし、ステッキ用のフックを取り付けた。特に問題なく利用されている。</p> <p>（光） 8 月に試験運用した視聴覚室の読書席としての開放について →（大） 夏休み期間中で利用が多くなる時期に合わせて、日曜日を二日分開放したが、当日周知だったこともあり、最大で 7 名と利用は少なかった。平日は閲覧席が空いている。 →（光） 事前周知の実施も含めて、引き続き検討をお願いする。</p> <p>（光） 地階の窓枠部分で発生した雨漏りについて →（大） 8 月に発生したが、9 月に漏水補修工事を行った。その後、台風や大雨でも影響は出ていない。</p> <p>② 事業計画について</p> <p>（光） 7 月、8 月開催の「大人のための絵本の会」について →（大） 7 月はオープニングイベントとして、出版者の方を講師に迎え、絵本のよみきかせを交えた講演を行った。8 月開催の第一回では、13 名の参加があり、30 代～60 代の幅広い集まりとなった。一人 5 分の発表時間で実に様々な絵本が紹介され、多くの質問や、やり取りが行われるなど活気ある会となり、好評だった。第二回目、第三回目の開催も予定している。紹介された本はリストと併せて展示し、多くの絵本が貸し出されている。</p> <p>この事業は、「読書発表会など人と交流できる事業を」という利用者アンケートの意見に応じて実施したもので、今後も、講師の話しを聞くだけでなく、地域の方々が自ら参加し、図書館で交流を深められるような事業を増やしていきたいと考えている。</p> <p>（光） 8 月開催の「大泉図書館建設の記録上映会」について →（大） 「大泉図書館建設の記録」は 30 分程度の DVD となっており、大泉図書館が建設されるまでの当時の様子が収められている。当時の映像を見ることで図書館を大切にしてもらいたいとの思いから上映した。会場内では、開館時の写真・ポスター等の展示や昨年度から今年 6 月までに地域コーナーで展示した資料を紹介したほか、のぶみ氏の「I Love 練馬あるある」の原画についても併せて 2 点展示した。参加者は少なめではあったが、一人</p>

一人の滞在時間は長く、じっくり鑑賞していただいたと思う。

(光) 9月27日にあった対面朗読室の利用に関する苦情について

→ (大) 利用時間より早く来館した方に、入室を待っていただく応対をして苦情となった。この場合、対面朗読室でお待ちいただく配慮が必要であり、6月にも同様の事象が発生していたが、周知が行き届いてなかった。

→ (光) 適切な配慮を行い、同様の苦情が発生しないようにすること。

(光) 9月開催の「図書館で認知症予防」について

→ (大) 図書館を使った認知症予防について、様々な事例を基に講演が行われ、関連資料の展示やブックトークによる紹介を行った。また、「認知症を知る」をテーマにパスファインダーを作成し、参加者に配布した。展示資料は3割近くの貸出があり、関心の高さを感じた。今回は、認知症予防等をテーマに講演を行ったが、最終的には参加者が主体的によみかせ等、図書館での活動をすることで認知症予防につなげていきたいと考えており、次年度以降、継続的に実施していきたい。また、高齢の利用者が多いことから、そこに特化した事業の実施など、地域の課題や特性に応えるサービス・事業を行っていきたい。

③ 児童サービス事業について

(光) 夏休みの学校支援の状況は。

→ (大) 学校図書館開放の要望があった学校には対応した。新学期に向けては読書旬間に向けて、活動を活発にしている。

(光) 7月開催の「大泉第三小学校夏休み親子読書会」について

→ (大) 学校、PTA、学校応援団と連携・協力した事業で、図書館は、パネルシアターやエプロンシアター、理科室での簡単な実験と関連資料の紹介を行った。昨年度の利用者懇談会に校長先生が参加されたことをきっかけに実現し、子供達や保護者の方、学校からも大変好評で地域との連携にもつながった。

(光) 7月から8月にかけて開催した「図書館を使って調べよう」について

→ (大) 学校支援員を中心としてレファレンス対応および調べ学習の支援を行った。会議室には、参考資料や「図書館を使ったしらべる学習コンクール」入賞作品のレプリカを展示した。毎年行っている行事で今回が6年目となるため、この期間を狙って来館する子供達が多い。今年は、200人が利用し、289件のレファレンスを受けた。例年問い合わせの多い読書感想文用の本は事前にリストを作り、在架状況を確認し、スムーズに対応できるよう心掛けた。

(光) 8月開催の東大泉地区区民館学童クラブへの訪問よみかせについて

→ (大) 学童クラブからの呼びかけで、初めて実施した。学童クラブに所蔵のない大型絵本なども取り入れ、図書館に親しみを持ってもらう機会とし、図書館利用の案内も併せて行った。また、障害のある子供のために「いろんな人がいるけど、みんな一緒だよ」といった内容のお話を読んでほしいとの要望を受け、対応したところ大変好評だった。

(光) 9月に行った大泉学園中学校文芸部「文学作品」の展示について

→ (大) 文芸部の生徒が作成した文学作品をお借りして青少年コーナーの閲覧席に展示した。毎年取り組んでいるもので、現在、5年分を展示している。学校からは生徒の作品の発表の場となり喜ばれているほか、一般の方もよく閲覧されている。